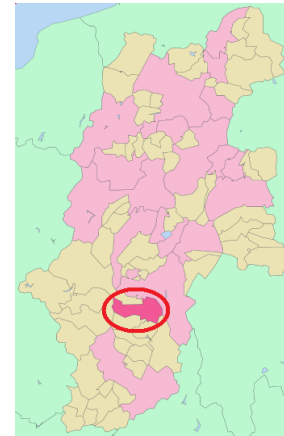


駒ヶ根市地域公共交通協議会

(平成21年3月17日設置)

バス事業を根本的に見直し、地域ニーズに沿ったわかりやすい公共交通へ再編し、安定して持続可能な駒ヶ根市らしい仕組みづくりを目指して調査事業を推進します。



長野県駒ヶ根市



現状と課題

駒ヶ根市の公共交通は、JR飯田線(4駅)、JR駒ヶ根駅から駒ヶ岳ロープウェイまでを結ぶ民営路線バス、中央自動車道高速バス、こまちゃんバス(市民コミュニティバス)から成っており、こまちゃんバスは、市街地を循環する「市街地循環バス」、市街地外側を循環する「地域振興バス」、東部地域の「竜東地域振興バス」で構成され、全11路線が定時定路線でJR駒ヶ根駅前発着です。

こまちゃんバスの乗客数は年々大きく減少しているため、市民ニーズに即した形態に再編することが求められています。また、市街地とそれ以外とは利用実態が異なることや国道バイパスの開通など都市の状況も変化しつつあることから、地域ごとのニーズを正確に捉えて、デマンドを含む運行形態の検討、乗り継ぎの最適化、車両の検討など、バス事業を根本から見直す必要が生じています。



- 社会状況、施設立地状況、道路状況等の基礎調査
- 現況公共交通実態調査
- 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査、乗り込み調査等)
- 福祉、学校、観光等の関係機関ヒアリング
- 公共交通事業者ヒアリング
- 住民説明会

調査内容

- 地域状況に応じた計画 …市街地域、小需要地域など、地理的条件、利用実態、ニーズの違いに合わせた路線バス基幹軸の設定、デマンド型交通の導入等の検討
- わかりやすい公共交通 …高齢者、障がい者、学生、来訪者にとっても迷わず使える仕組み作りの検討
- 商店街等との連携 …地域活性化のための誘客と公共交通利用との連携の検討
- 持続可能な公共交通 …公共交通サービスレベル、利用者負担、行政負担など、それぞれの在り方を適正に方向づけし、安定・持続可能な仕組みの検討

連携計画の構想(予定)